

PCL86シングルステレオパワーアンプキット(TU-8100)に組み込もう！



USB-DACモジュール(PS-3249)は、市販のケースに組み込むだけでなく、当社の真空管パワーアンプ「TU-8100」にも組み込むことができるように設計されています。今回はPS-3249をTU-8100に組み込む方法を解説します。

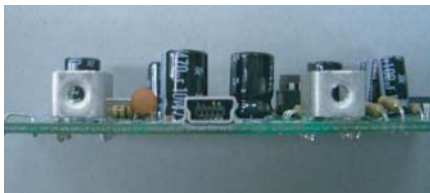
まず、下記のものを用意しましょう。

— 用意するもの —

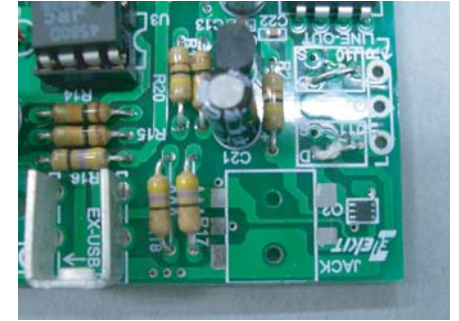
- USB-DACモジュール(PS-3249)
- PCL86シングルステレオパワーアンプキット(TU-8100)
- 2芯シールド線.....17cmくらい
 - ※この他に、音源(パソコン)やスピーカ、それらをつなぐケーブルが必要です。
 - ※パソコンとUSB-DACモジュールをつなぐUSBケーブルは「A↔Mini-B」タイプです。

①PS-3249は次のように組み立てます。

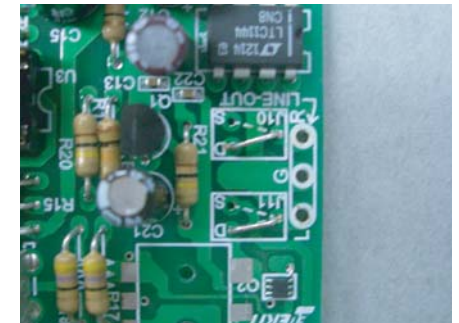
• PS-3249に付属の「ターミナル金具」を写真のように取り付けます。ねじ穴がある面が外側に来るように4本の足を基板に差し込み、はんだ付けします。



• 「ミニジャック」は取り付けないでください。



• 「J10」、「J11」は「D」に取り付けておきます。

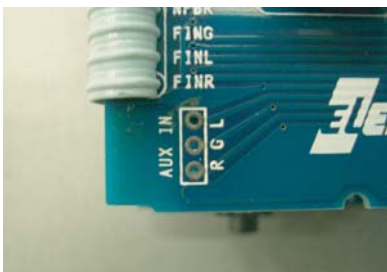


②別途用意した「2芯シールド線」を加工します。

2芯シールド線の両端の被覆を、それぞれ1cmほどむくと、アミ線と2本の芯線があらわれます。あらわれた2本の芯線の被覆も5mmほどむきます。それぞれの線の先がバラバラにならないようにねじり、はんだめっきしておきます。



- ③組み立てたTU-8100の上下シャーシをはずし、基板だけの状態にします。
TU-8100の「UNIT-2」基板の前方にある「AUX IN」端子に、先ほど加工した2芯シールド線をはんだ付けします。



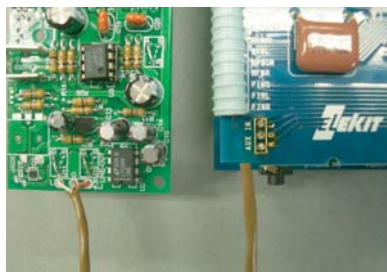
2芯シールド線の「アミ線」……Gへ
 " 「赤い線」……Rへ
 " 「白い線」……Lへ } ※

※使用する2芯シールド線により、色が異なる場合があります

注意！

TU-8100の「AUX IN」端子への配線は、必ず基板の裏側（白い印刷がない面）から芯線を差し込み、白い印刷がある面ではんだ付けすること！

- ④PS-3249のラインアウトに2芯シールド線のもう片端の線をはんだ付けします。



2芯シールド線の「アミ線」……Gへ
 " 「赤い線」……Rへ
 " 「白い線」……Lへ } ※

※使用する2芯シールド線により、色が異なる場合がありますので、TU-8100のAUX IN端子の「R」とPS-3249のラインアウト端子の「R」、同じく「L」と「L」がつながるように配線します。

- ⑤TU-8100のリアパネルにPS-3249を取り付けます。
PS-3249に付属のねじを使用し、TU-8100のリアパネルとPS-3249の基板に取り付けたターミナル金具をねじ止めし、取り付けます。



- ⑥TU-8100のシャーシを再び取り付ければ完成です。

TU-8100のシャーシに貼る「ファンクションラベル」のうち、背面の「ラベルD」は貼らないでください。



使い方

- ①PS-3249のUSB端子とパソコンのUSB端子をケーブルで接続し、パソコンがUSB-DACモジュールを認識していることを確認します。
パソコンとの接続については、PS-3249の説明書をご覧ください。
- ②TU-8100のスピーカ端子にスピーカを接続し、DCジャックにACアダプターを接続します。
スピーカやACアダプターの接続については、TU-8100の説明書をご覧ください。
- ③TU-8100の電源を入れ、ボリュームを最小の位置にしておきます。
- ④パソコンの音楽再生ソフトなどを起動し、音楽などを再生します。
- ⑤TU-8100のボリュームを徐々に上げていき、ちょうど良い音量になるように調節します。
音量が不足する場合には、パソコン側の音量を上げて調節します。

使用上の注意

- PS-3249への電源供給は、パソコンのUSB端子から行われます。パソコンが起動し、PS-3249と接続した状態では、TU-8100の電源をOFFにしてもPS-3249への電源供給はOFFになりません。PS-3249への電源供給をOFFにするには、USBケーブルを取りはずすか、パソコンの電源をOFFにしてください。
- TU-8100の「INPUT-1」および「INPUT-2」に他の音源を接続し、パソコンの音楽再生と同時に他の音源を再生した場合には、全ての音声がミックスされた音がスピーカから流れます。